

平成27年北栄町議会議員研修報告書

1. 日 時	平成27年10月27日～29日 2泊3日
2. 調査地	鳥取県八頭町 大阪府柏原市 大阪府泉南市 京都府綾部市 兵庫県香美町
3. 調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6次産業化の取り組みについて (直営カフェ・通信販売) ・ 6次産業化の取り組みについて (ワイナリー・地域協働によるぶどう栽培) ・ 6次産業化の取り組みについて (障がい者雇用の促進にむけた農福連携の取り組み) ・ 水源の里事業の取り組みについて (限界集落の維持・再生に向けた取り組み) ・ ふるさと教育の推進について (学校・地域における取り組み)
4. 調査結果 又は概要	<p>①鳥取県八頭町 「ひよこカンパニー」</p> <p>1パック10個1000円の卵が通信販売によって全国に売れていく。顧客数180000人。卵といえば、スーパーの安売りの目玉商品となっているのがふつうであるが、それを覆し、「鶏の飼育方法」・「餌」・「水」・「鮮度」・「安全」いずれにもこだわり続け、自信を持って1個100円の取り組みができたように思えた。</p> <p>八頭町の山間地という立地条件の悪さを苦ともせず、反対に逆手に取り、自然循環型農業を実施して、鶏を自然な形で育てている。単に良い卵を売るだけでなく、できるまでの過程や背景を大事にし、それに付加価値にしていることは、素晴らしい。</p> <p>インターネットを使つての通信販売も地元から採用した20人のオペレーターを使うなど、現在100人の従業員が働いており、雇用の場としてまさに地域と共生されていた。30代を中心に8割が女性である。</p> <p>スイーツと卵の直売所のココガーデンは年間10万人の利用客があり、連休には3時間まちの大盛況ぶりである。県外からのお客も多い。これもインターネットの力である。</p> <p>実際に入ってみると、中の雰囲気も良く、スタッフの教育も徹底され、パンケーキはうわさ通り、大変おいしかった。遠くからでもきて、待たされても食べる価値ありと感じた。</p> <p>敷地内には、農業体験もできる農業テーマパークの建設が進</p>

んでいた。

②カタシモワイナリー

「日本一ぶどう産地だった頃の風景を取り戻したい。創業 100 年の老舗ワイナリーによる大阪ぶどう復活プロジェクト」

ぶどう畑が宅地化し、マンションがすぐそばまで建っていた。ブドウ農家の高齢化が進み、土地を手放す人が多く、放棄地になってきていた。急増する耕作放棄地の解消と地域活性化のため、ぶどう栽培を拡大した。ワインができて、なかなか売れないことから、大都会に近いことを利用して独自で売る方法を考えた。レストランのシェフとコラボしてぶどう畑でレストランを開いたり、町のパン屋さん、住民たちと協力しながらイベントを開いた。

今、地産地消が叫ばれている中、地元のことを大事にしようという機運が高まっている。インターネットやマスコミに取り上げてもらうことにより、消費者がボランティアに来てくれるようになった。

③コクヨ、ハートランド（コクヨの特例子会社）

知的障がい者や精神障がい者にも就労の場を提供したいという意図のもと設立された。理念は商品を通じて社会に貢献。水耕栽培なら天候に左右されず、雨でも冬でも安定した就労を確保できる。サラダほうれん草は、需要が多く事業として持続可能、農薬は使用しない。

場内を見学。苗作りから栽培室で管理され、ハウス内の圃場に定植。水耕栽培なので水道水を使い、液肥で調整。作業もしやすい高さ、寒冷紗、防虫ネット、送風機。大がかりな仕掛けがあった。総工費 1 億 8000 万円。2920 平方メートル。

従業員 19 人（精神障がい者 2 人、知的障がい者 6 人）

他のグループホームからも応援もあり、たくさんの障がい者の方が一生懸命袋詰め工程をやられていた。小さい事業所ではなかなか障がい者の方を雇用することはむずかしいが地域貢献ということで大会社が参入されることは意義がある。

④水郷の里・京都府綾部市

歴史 昭和 25 年市制施行

人口 35601 人
高齢化率 34,685%

水郷の里事業の経過

H18.4 水源の里を考える会を設置

H19.4 水源の里条例施行（5年間の時限条例）

195のうち5集落を対象に振興策を展開 古屋も

H24.4 新・水源の里条例施行（5年間の時限条例）

対象自治会を拡大 自治会からの指定申請制度を導入

水郷の里古屋代表 渡邊和重さんの話より

東京で出版・編集の仕事をされていたが、帰ってきた。みんなあきらめの心だった。四方前市長の呼びかけがあり最後のチャンスと思い、この村を廃村にしたいという強い思いから、1年かけて話し合った。栃の実の活用で栃もちやおかきを作った。ボランティアも含め年間3000人が訪れ交流を深めている。

⑤ふるさと教育・兵庫県香美町

「ふるさとに学び 夢や志を抱き ふるさと香美を大切に
する人づくり」

864人の小学生に対し10の小学校、509人の中学生に対し4の中学校。高校2校。幼稚園9、保育園2。小学校では少人数での教育がされていて、トリプルチャレンジ大作戦として、月1回3時間2、3校で交流授業が行われている。

給食センターも3つ、日本一のふるさと給食めざして、地元食材にこだわり、愛情あふれるふるさとを推進している。

中学を卒業したらだれもが三枚おろしができる。

三つの町民運動は、あいさつ、読書、体力作り。

5. 所 感	<p>①少し強行軍であったが、大変刺激的、感動的な三日間であった。交通の便が悪い地域であっても、今はインターネットでどこでも商売ができる。クチコミでどんどん広がっていく。こだわりを自信をもって売っていく。コナン通りにもココガーデンのようなくつろげるカフェや飲食店が急がれる。</p> <p>②北栄町が大好き、そして将来も住みたい街づくりに小、中学校のうちから将来ことを視野にいれながら教育していかなければと強く感じた。</p>
--------	---

提出〆切 平成27年11月9日